

**製品名: TRPS1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19326**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	141kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TRPS1
別名	TRPS1; Zinc finger transcription factor Trps1; Tricho-rhino-phalangeal syndrome type I protein; Zinc finger protein GC79
遺伝子 ID	7227.0
SwissProt ID	Q9UHF7
免疫原	抗血清はヒト TRPS1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

**背景**

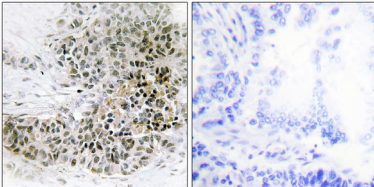
転写抑制因子 GATA 結合 1 (TRPS1) ホモサピエンス この遺伝子は、GATA 制御遺伝子の転写を抑制する転写因子をコードし、ダイ

ニン軽鎖タンパク質に結合する。コードされたタンパク質がダイニン軽鎖タンパク質に結合すると、GATA コンセンサス配列への結合が阻害され、転写活性が抑制される。この遺伝子の欠陥は、毛状鼻指節症候群（TRPS）I型～III型の原因となる。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：TRPS1に関連する染色体異常は、毛状鼻指節症候群II型（TRPS2）の原因となる[MIM:150230]。TRPS2は、染色体8q24.1の欠失に起因する連続遺伝子症候群であり、TRPS1およびEXT1の機能的コピーの喪失を引き起こします。疾患：TRPS1の欠陥は、毛髪・鼻・指節症候群I型（TRPS1）[MIM:190350]の原因です。TRPS1は、頭蓋顔面および骨格の異常を特徴とする常染色体優性疾患です。毛髪・鼻・指節症候群III型と対立遺伝子を形成します。典型的な特徴としては、まばらな頭髪、球状の鼻先、突出した耳、長く平坦な人中、薄い上唇縁などが挙げられます。骨格異常には、指骨の円錐状骨端線、股関節奇形、低身長などがある。疾患：TRPS1遺伝子の欠陥は、毛状鼻指節症候群III型（TRPS3）[MIM:190351]の原因である。TRPS3は、頭蓋顔面および骨格異常を特徴とする常染色体優性疾患である。毛状鼻指節症候群I型と対立遺伝子である。TRPS3では、より重度の短指症および成長遅延が観察される。機能：転写抑制因子。脊椎動物の発生過程において、特定の部位および段階において、GATA制御遺伝子の発現を制限する働きがある。前立腺癌のアポトーシスに関与している可能性がある。類似性：GATA型ジンクフィンガーを1つ含む。類似性：C2H2型ジンクフィンガーを7つ含む。サブユニット：GATA配列に特異的に結合する。組織特異性：成人では普遍的に発現する。胎児の脳、肺、腎臓、肝臓、脾臓、胸腺に認められる。アンドロゲン依存性前立腺癌細胞では、アンドロゲン非依存性前立腺癌細胞よりも高い発現を示す。

## 研究分野

-

## 画像データ



TRPS1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。